

20th

奈良県ユニセフ協会
設立20周年
記念誌



20th

奈良県ユニセフ協会
設立20周年
記念誌



	2	目次
	3	設立20周年を迎えて
4 ~	5	メッセージ
6 ~	9	これまでのあゆみ
10 ~	13	活動紹介
14 ~	15	ボランティアの皆さんからのひと言
16 ~	17	ユニセフってなあに
	18	SDGs
	19	奈良県ユニセフ協会役員
	20	奈良県ユニセフ協会

奈良県ユニセフ協会 設立20周年

— 設立20周年を迎えて —

1982年、奈良の地で、1人の女性がユニセフカードの販売を始めたのがきっかけとなって、ユニセフ活動に共鳴する人が集まり、10年後の1992年に日本ユニセフ協会西奈良友の会が結成されました。

さらに、より一層の活動の広がり求めて、2001年1月に日本ユニセフ協会奈良県支部が設立され、新たな一歩を踏み出しました。

おかげさまで、活動がスタートしてから39年。県ユニセフ協会設立から20周年を迎えることができました。

これまでに皆さまから寄せられたご支援、および、ボランティアの皆さまのご協力のたまものであり、心から感謝申し上げます。

世界を襲った新型コロナウイルス。ユニセフは幼い命を感染症から守りながら、母子健康や栄養治療など従来の支援活動も継続して行う責務を担っています。幼い命を守り抜くために、今後ともユニセフ活動へのお力添えをお願い申し上げます。

2021年8月

メッセージ

奈良県ユニセフ協会 会長

甘利 治夫

その日、山藤エリザベスさんの紅潮した顔があった。平成13年1月、県公会堂には当時の奈良市長だった大川靖則氏をはじめ各界から約70人が出席して、日本ユニセフ協会の県支部が発足した。関西初の県組織で、その歴史的な場面に同席させてもらったことを今でも覚えている。

会長には当時の南都銀行会長だった故・阪本道隆氏が、専務理事にはエリザベスさんが就任した。奈良のユニセフを語る場合、エリザベスさんなくしては語れない。「支援を必要とする子どもたちの生活を少しでもよくしたい」という願いから、その20年以上前から、PTA仲間などと地域の活動を続け、ついに関西で最初の県組織を作り上げた。この功績に、第9回奈良新聞文化賞を贈らせていただいた。

ユニセフのテレビCMを目にするたびに、この地球上で戦禍や貧困、病苦にあえぐ子どもたちの姿に涙する人も多いに違いない。小さな活動でも、一人の子どもが救われることを信じて、粘り強い活動を続けていきたい。



奈良県ユニセフ協会 前専務理事

山藤 エリザベス

39年前、奈良市の片隅に現れた「ユニセフの活動に関わりたい」という想いは今も奈良からどこかの子どもと繋がっているように思うと、嬉しさも感謝の気持ちも湧いてきます。

それを可能としたのは、当時の一握りの素人から19年後の県支部（現県協会）へ、そして更に20年後の今へと、活動を絶えず守ってこられた皆様です。代々のボランティア、各地の支援者、そして2001年から力を添えて下さった役員の皆様々に心底からお礼を申し上げます。東京の日本ユニセフ協会本部が、この小さかった団体に県代表としての役目を託して下さい下さった有難さを心に深く刻んでいます。

先進国に住んでいる日本の子どもたちはユニセフ支援の対象にはありませんが、ユニセフの豊富な資料を基にした児童生徒と先生たちの学びは印象的です。ビデオなどに出る子どもたちとの年齢が近いからか、気持ちが直に通じて、「少しずれた時代、少しずれた場所に生まれていれば、その子は自分だったかも…」 「食べ残しはもうしない」「自分の『グチ』はちっぽけみたい」——。

今回のコロナウィルスが示した事の一つとして、世界はかつてない程に関わり合っているという事です。未来を分け合う事になっている子どもは、世界の片隅の問題はみんなの問題だと、子どもなりに何かをしたいですが、大人にも役割があるはず。ユニセフの役割も続きそうですね。



メッセージ

(公財)日本ユニセフ協会 会長

赤松 良子



奈良県ユニセフ協会が設立 20 周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

2001 年の設立以来、長年に亘り世界の子どもたちのためにユニセフの活動をご支援くださってこられた貴会の皆様に感謝申し上げますとともに、奈良県ユニセフ協会を支えていただいております皆様、そして設立 20 周年を迎えるにあたりご尽力賜りました関係者の皆様に心からの敬意を表します。

奈良県では地域に根差した募金活動、パネル展の開催、地元の学校への出前授業など積極的なユニセフ活動が展開されております。これもひとえにボランティアの皆様の熱意とご尽力の賜物と深謝申し上げます。

そして、今、世界中が新型コロナウイルスによる未曾有の危機に直面する中、子どもたちの平穏な日々を取り戻し、健やかに成長し続けていけるようにするための支援が急務となっております。世界の情勢がどのように変化しても、子どもの命と未来を最優先で守るユニセフの使命は変わりません。皆様にはどうぞ引き続き変わらぬご理解とお力添えを頂きますよう、心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴会の益々のご発展と会員の皆様のご多幸、ご健勝を祈念申し上げます。

日本ユニセフ協会 大使

長谷部 誠



奈良県ユニセフ協会の皆さま

設立 20 周年、おめでとうございます。

そして、日ごろから世界の子どもたちのために活動をして下さっているみなさん、ありがとうございます。

微力ではありますが、僕も、親善大使として、みなさまの、そして世界の子どもたちのお役にたてばと思っています。

ぜひみなで力を合わせて、これからもがんばりましょう。

これまでのあゆみ (1982年～1995年)

1982年

奈良市の女性が草の根的に
ユニセフ協力活動を開始

1982年、米国出身の山藤エリザベスさんが、二名公民館の文化祭で、ユニセフカード販売やパネル展示を行いユニセフへの協力を呼びかけたのがきっかけ。

その後、近所の女性たちを中心に活動の輪が広がり、グループとしての活動が始まる。



1984年

「西奈良ユニセフグループ」結成

1984年、正式なグループを結成しようという声が高まる。24人で「西奈良ユニセフグループ」を結成し、グループで活動に取り組む。

「西奈良ユニセフグループ」として、毎年、奈良市西部地域の公民館や学校、自治会行事でユニセフカード販売や、募金、バザー、古本市、講演会、写真展、使用済み切手回収など、ユニセフに協力する様々な活動を行う。

1991年秋、活動の拡大に伴い、グループを「友の会」組織にすることを検討。

1991.12 グループとして初めてユニセフ・ハンド・イン・ハンド募金に参加



1992年

「日本ユニセフ協会西奈良友の会」結成

草の根的だった西奈良ユニセフグループの活動をさらに広げるために、1992年、日本ユニセフ協会の傘下の組織である「友の会」を結成、新しいスタートを切る。

- 1992.11 「日本ユニセフ協会西奈良友の会」の結成
代表 山藤エリザベス氏
日本ユニセフ協会 東郷良尚 専務理事 講演
「世界の子どもたちとユニセフ」
- 1993.06 地元自治会、地域団体、企業等の協力のもと、友の会発足後初のバザー開催
- 1993.04 第1回ユニセフ・ラブ・ウォーク 王龍寺へ
12人と犬1匹で
- 1994.10 写真展「こども：アフリカの開発と未来」の開催
- 1995.11 ユニセフ設立50周年記念祭



これまでのあゆみ (1996 年～2003 年)



1996年

unicef 50 周年

戦後の 1946 年 12 月に創設されたユニセフは、1996 年に 50 周年を迎える。奈良ファミリーで「50 周年記念写真展」を開催。

- 1997.01 カレンダー市を始める
- 1998.10 地雷撲滅をテーマにした人形劇を上演
「かたいっぽうのくつ下が・・・」
- 1998.11 フォーラム「私にもできる国際協力」を開催
なら・シルクロード博記念国際交流財団と共催
講演とパネルディスカッション 奈良県新公会堂にて
- 2000.07 日本ユニセフ協会 地域組織学習ワークショップ
奈良市内で開催される

1997/ unicef50 周年
記念写真展
「戦火の中のこどもたち」



2000/
地域組織
学習ワークショップ



1998/
人形劇「かたいっぽうのくつ下が・・・」



2001年

「日本ユニセフ協会奈良県支部」設立

西奈良友の会の活動のひろがりに伴い、日本ユニセフ協会の 8 番目、関西初の地域組織として「日本ユニセフ協会奈良県支部」が設立される。

- 2001.01 「日本ユニセフ協会奈良県支部」設立総会開催
初代会長に阪本道隆氏(南都銀行会長)就任
設立記念コンサート「愛のメッセージ」開催
- 2001.04 奈良市東向北町「松山ビル」に事務所開設
- 2001.07 東京・ユニセフハウスのオープニング記念式典で
合唱披露 (まつぼっくり少年少女合唱団)

2001/ 初代会長
阪本道隆氏就任



2001/ 奈良県支部の設立総会



2001/ 東京・ユニセフハウス
オープン記念式典
子どもたちが合唱披露



2002/ 1周年記念講演
川村たかし氏



2002/ 1周年記念の集い
高円保育園「子ども太鼓」



2002年

設立 1 周年

記念の集い会場ステージで「子ども大太鼓」を演奏してくれた高円保育園の園児たち。そして、会場を飾る 220 枚の万国旗を 1 つ 1 つ手作りしてくれた奈良市敷島町子ども会の子どもたち。皆さんありがとう!!

- 2002.06 設立 1 周年記念の集い 開催
記念講演 講師 児童文学作家 川村たかし氏
「母と子と『～新十津川物語』を書き終えて～」
- 2003.02 写真展「あごころのあなたへ」開催
～戦後の脱脂粉乳で育ったこどもたち～
- 2003.11 信貴山「寅の市」でカード・グッズ販売

2002/ 万国旗の寄贈
敷島町子ども会から



2003/
カード・グッズ販売
信貴山「寅の市」にて



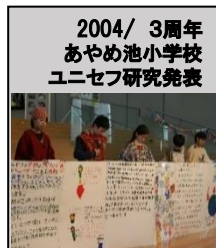
これまでのあゆみ (2004年~2014年)

2004年

設立3周年

なら100年会館で開催された設立3周年の集い。記念講演に続き、まつぼっくり少年少女合唱団のミニコンサートを楽しむ。

- 2004.03 設立3周年記念の集い 開催
薬師寺管主 安田暎胤 師 講演
「愛のお福分け」



2005年

**設立5周年
(日本ユニセフ協会創設50周年)**

あの戦争の終わりから60年、国連の創立60周年、日本ユニセフ協会創設50周年。設立5周年の2005年は様々な想いを起こさせる節目の年となる。

- 2005.03 大川靖則 前顧問 (前奈良市長)
日本ユニセフ協会から感謝状を授与される
- 2005.10 設立5周年記念の集い 開催
東大寺別当 森本公誠 師 講演
「戦後六十年の節目に想う」
- 2007.03 写真パネル展開催
「危機にさらされる子どもたち」
- 2008.06 永田正利 氏 県ユニセフ協会2代目会長就任
(奈良県農業協同組合経営管理委員会会長)



2010年

**設立10周年
(平城遷都1300年)**

設立10周年を迎えた2010年は、また平安遷都1300年の年。遷都祭会場の平城宮跡まほろばステージと交流ホールで、設立10周年記念の集いを開催。

- 2010.07 設立10周年記念の集い 開催
元興寺住職 辻村泰善 師 講演
「遊ばせていただける有難さ」
- 2011.04 日本ユニセフ協会の公益財団法人への移行に伴い
「奈良県ユニセフ協会」へ組織名称変更
- 2014.12 カード事業終了



これまでのあゆみ (2015 年～2021 年)



2015年

設立 15 周年

2015 年 11 月、県ユニセフ協会 3 代目会長に甘利治夫氏 (奈良新聞社代表取締役) が就任。
2016 年 11 月、奈良の地でユニセフ協力活動を開始し、以来 3 5 年にわたって県ユニセフ協会の活動に尽力された山藤エリザベス専務理事が退任。

- 2015.11 甘利治夫氏 3 代目会長就任
- 2015～'18 大学共催で講演会を開催 — 公開講座 (帝塚山大、奈良女子大、天理大、奈良教育大)
- 2016.11 山藤エリザベス専務理事 退任
- 2018.01 「なら土連会館」へ事務所移転
- 2019.05 「奈良県林業会館」へ事務所移転
- 2019.09 第 1 回ユニセフシネマの集い開催 「いのちのはじまり」上映
- 2019.10 ユニセフキャラバンキャンペーンが来県 (1996 年から県協会が関わる)
- 2019.10 中学生職場体験を受け入れ



2020年

設立 20 周年

2020 年 県ユニセフ協会は設立 20 周年を迎える。当初は 2020 年 10 月に開催予定だった「設立 20 周年記念の集い」を、コロナウィルスの感染拡大防止のため、開催を翌 2021 年 10 月に延期。

- 2020.02 プロバスケット B.LEAGUE「バンビシャス奈良」の試合会場にブースを出展
- 2020.10 大仏さまへ平和祈念の合唱奉納 コロナ禍の早期終息と子どもたちの健やかな未来を願う
- 2020.12 「#ユニセフ奈良ハンドインハンド 2020」オンライン募金を初めて実施
- 2021.06 第 3 回ユニセフシネマの集い開催 「ライオン〜25 年目のただいま」上映
- 2021.06 オンライン授業に初めて取り組む 小学校と相次いでオンラインで学習会を実施
- 2021.10 設立 20 周年記念の集い 開催 (予定) 東大寺金鐘ホールにて



活動紹介

学習会 / 学校や事務所でユニセフ学習会を実施

県内の学校や団体、グループからの依頼で、学校や事務所において学習会を実施。世界の子どもたちの状況とユニセフの活動について学びます。



写真パネル展 / 子どもたちの暮らしやユニセフの活動を紹介

「長谷部誠大使 ロヒンギャン難民キャンプ訪問～未来を切り拓くために」「ユニセフってなあに」など。世界の子どもたちの様子や、ユニセフの活動を紹介します。



講演会 / 世界の現実や子どもたちの暮らしを学ぶ

様々な分野の方を講師にお招きして、ニュースでは知ることができない世界の現実や、子どもたちの暮らしの今を学びます。



活動紹介



ユニセフ・ラブウォーク / 参加費がユニセフ募金に

ウォーキングで快い汗をかく。
それがユニセフを通じて世界の子どもたちの支援になります。



ブース出展 / 各種イベントに参加

市民交流会、スポーツ大会、音楽祭等のイベントにブースを出展。
子どもたちの現状とユニセフ活動を伝えます。



ユニセフシネマの集い / “子ども”テーマの映画

厳しい環境の中を生きる世界の子どもたちをテーマに、ユニセフシネマの集いを開催します。



活動紹介

ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金 / “手に手をとって”

“手に手をとって”を意味するハンド・イン・ハンド募金。
 毎年12月に県内の各地所で行っています。
 小・中・高の児童や生徒、ボーイスカウト、ガールスカウトの皆さんをはじめ、みんなで力を合わせて募金を呼びかけます。



街頭募金 | カレンダー募金 | バザー

東大寺南大門前、興福寺五重塔前、近鉄奈良駅前で、市民の方や海外からの観光客にも募金へのご協力を呼びかけます。
 企業や支援者から届くカレンダーやバザーの品々、販売代金を募金へ。



募金贈呈 / 学校、寺院、団体から募金を頂きます

学校や団体から、校内募金やイベントで寄せられた募金を贈呈していただきます。



活動紹介



外国コイン・使用済み切手の回収 / 小さなやさしさ、探して欲しい

海外旅行で余った外国コイン、お賽銭に入っていた外国コイン。皆さまからお預かりした外国コインは、通貨別に仕分けられた後、支援活動に使われます。また、寄せられた「使用済み切手」も換金され、子どもたちのために役立てられます。



外国コイン 一人の方や寺社か



外国コインは
日本ユニセフ協会へ搬送



寄せられた使用済み切手を整理



切手回収 BOX
(はぐくみセンター)

ユニセフ教材・資料の貸し出し / 学習の教材や文化祭などのイベントで活用

水がめ、地雷レプリカ、蚊帳、ユニセフ手帳、子どもチラシ、ポスターセット、パネル「ユニセフってなあに」、DVD・ビデオなどの貸し出しを行います。



ネパールの水がめ



パネル「ユニセフってなあに」



地雷レプリカ



マラリヤ防止の蚊帳

ボランティアと組織の強化 / 活動を支える力

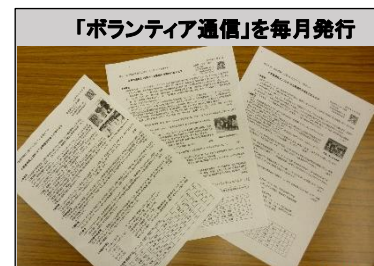
ボランティアと組織の強化のために、機関紙の制作、定例連絡会、学習会などを開催し、ボランティア通信を毎月発行します。



機関紙「奈良ユニセフだより」



定例「ボランティア連絡会」の開催



「ボランティア通信」を毎月発行

ボランティアの皆さんからの一言

以前からボランティア活動には興味があり、主に盲導犬育成の為の街頭募金活動へ参加していました。最近では世界の子どもの命と権利を守る奈良県ユニセフ協会の活動に感銘し、参加させてもらいました。

佐々木 茂

ユニセフとの出会いが今の私を作ってくれています。キラキラ輝く瞳にあふれる笑顔を見たいから、悲しみや苦しみの淵から少しでも抜け出ることができれば…。ずっと寄り添っていたい、どんな形であろうと。

向井 富子

駅頭募金で、少年が自分の財布から「これだけでもいいですか？」と募金してくれたのがとても印象に残っています。そんな気持ちを大切に活動を続けたいです。

西川 富久子

奈良県ユニセフ協会のボランティアに参加し、活動としては、主に月1回程度の事務所当番のお手伝いですが、普段の生活では得難い経験ができ、楽しさと元気を頂いています😊。

大地 文男

昔、ユニセフから頂いた脱脂粉乳への感謝の気持ちをこめて、世界の子どものために、今後も活動を続けて行きたいです。西奈良友の会の皆さまからのバトンをもた次の若い皆さんに繋がるように。

山本 裕子



ボランティア活動の想いは、街頭募金活動の時に、世界中の人々の温かい寄付金の重さと同じ想いがある。命より重いものはない。

入江 玲

ユニセフの活動を通して多くの善意に触れ、良い仲間にも出会うことが出来ました。これからも「何かお役にたてば…」という思いで、ボランティアを続けていきたいです。

安藤 良子

暑い中そして寒い中、様々な所で皆さんと一緒に声を出して協力を呼びかけるユニセフ募金活動は、得難い経験です。少しは人の役に立っているはず、という思いがボランティア活動のエネルギーです。

田室 憲幸

平和な国で衣食住、医療、教育に不自由なく生きてこられたこと、子育てができたことに感謝して。今困難な状況におかれた子どもたちのために役立ちたいと活動しています。

中山由美子

葉書を求めて立寄り、その後、「会計係さんが辞めたから手伝ってー」の友人からの声かけがきっかけ。同じ未歳の me-me-の皆さまに励まされ、感謝一杯の20年。あと何年の不安もある中、前向きにと思っています。

竹村 寛子

月1回の事務所当番と言う事で始めたボランティア。いろいろな経験をさせて頂いて6年目を迎えました。体力の続く限り頑張ります。

浜田 源二

ボランティアの皆さんからのひと言

ユニセフに係らせて頂き感謝です。活動を通して色々な方に出会い、そして世界の子ども達の現状を知りました。今後も無理せず続けたいと思っています。笑顔で子ども達が暮らせる日が来ることを祈りつつ。

田畑 フキ

戦後の昭和24年から15年間、日本はユニセフから粉ミルクや綿花・衣料品等の物資を援助されたが、その時、私は小学5年、家の周りは焼野原の中、人々は生きがために必死に頑張っていた時代でした。アルミ容器に入った「ミルク」は、初めて飲んだ乳製品で美味しくて楽しみな給食だった。このユニセフ援助に感謝し、ボランティアとして参加しています。

金子三樹彦

わが子の短命からユニセフ活動を知り、ボランティア活動に参加することになりました。ボランティアに参加している方々はゆたかな人生経験者です。ここでいのちの重さ、社会参加の重さを学んでいます。足腰が動く間はこれからも参加したいです。

黒田 和海

友人の誘いがきっかけで、カード係としてイベント参加や物品管理などに携わりました。世界の子どもの笑顔が1つでも増えますように～！と願いつつ活動を続けたいと思っています。

長澤八重子

奈良県ユニセフ協会設立20周年、慶賀の念に堪えません。事務所立ち上げの頃より微力ながら諸事に関わらせて頂いたこと、幸せに思います。今はコロナ禍で募金活動も儘ならない時ですが、只管打坐の心境にてコロナ禍の過ぎるのを待つのみです。頑張りましょう。

兎玉宏太

新聞のカレンダー市の記事を読み、事務所へカレンダーを持参時にボランティアに誘われて以来20年余、月1～2回参加させていただいております。戦後給食の乾燥林檎(アラレ状)の甘酸っぱい味が忘れなくて…。

大塚 敬子

ユニセフという大きな飛行船から、地球の色々な災難を凝視。一生懸命に生きようとしている人々!! 特に赤子の細い息吹をここで止めていいんだろうか!! アリの様に微力なのにこの活動を止めたいと思った事がない。

枝 正子

ボランティアを始めた10数年前は、カード・グッズ等を多く扱い、イベントや街頭募金での支援活動でした。“世界の子どもの幸せのために!”という共通の思いを胸に、一緒に活動するボランティアの皆様からも多くの事を学びました。よき機会を頂き有難うございました。

福元まゆみ

ボランティアに参加させて頂き、いろいろ学ばせて頂きました。なかでも「水の大切さ」です。子どもたちの水汲みの姿は、身につまされました。勉強・遊びの時間をつくってあげたいと!

森川美沙子

街頭募金の呼びかけに、募金される方の温かい志に、励まを頂いて感謝しています。貧富の差が拡大する時代の一助になればと願っています。

辻中隼逸

世界とのつながりを求め大阪支部を経て奈良支部へ。ベビーカーで参加を始めた娘も、小6になりました。細く長く世界の子どもの心に寄せていきます。

石阪友香子

募金活動は、やりがいがあり、楽しいです。私と年が近い世界の子どものために、これからもボランティア活動をがんばっていきます。

石阪優希(小6)

2度目の定年退職後、何か社会のお役に立ちたいと考え、県ユニセフ協会の事務所を訪問。今日まで経験豊富な先輩ボランティア方とともに楽しく活動させて頂いています。皆様に感謝!

丸山恒彦

世界の恵まれない子どもたちに微力ながらお役に立ちたいとの想いと、少しでも子どもたちの支援につながっていると達成感。この2つが活動を続ける力です。ボランティアにかかわって人生が豊かになりました。

倉品夏江

ユニセフってなあに

ユニセフって
なあに？



ユニセフのあゆみ

1945年	国際連合成立。
1946年	第1回国連総会で UNICEF(国連国際児童緊急基金)創設される。
1949年	日本へのユニセフ援助(学校給食での粉ミルクなど)が始まる。
1953年	新名称『国際連合児童基金』に改名される。活動を開発途上国の子どもへの長期的な支援へ広げる。
1955年	『日本ユニセフ協会』が財団法人として設立される。
1959年	『児童の権利に関する宣言』が国連総会で採択される。
1961年	教育分野への協力に乗り出す。
1964年	日本へのユニセフ援助が終わりを告げる。(15年間の援助額は、当時の金額で65億円)
1965年	ユニセフがノーベル平和賞を受賞。
1979年	国連総会が「国際児童年」を定める。『ハンドインハンド』街頭募金始まる。
1983年	ユニセフ「子ども健康革命」を提唱。子どもの生存と健康支援事業に重点を置く。
1989年	国連総会で「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」を採択。ユニセフ、子どもの人権を支援活動の基礎とする。
1990年	『子どものための世界サミット』開催。世界159カ国から代表が参加。
1992年	『ユニセフ外国コイン募金』開始。
1994年	『子どもの権利条約』日本で批准される。
1996年	ユニセフ創設50周年。「ユニセフ」の使命を発表する。
2002年	「国連子ども特別総会」の開催。21世紀の新たな子供のための目標を採択。
2005年	日本ユニセフ協会創立50周年を迎える。
2014年	「子どもの権利条約」25周年
2015年	2030年までの国際社会が取り組むべき17の目標「持続可能な開発目標 SDGs」が採択される。
2018年	5歳未満の死亡数が1990年の1,260万人から530万人に減少。

ユニセフ (UNICEF) とは

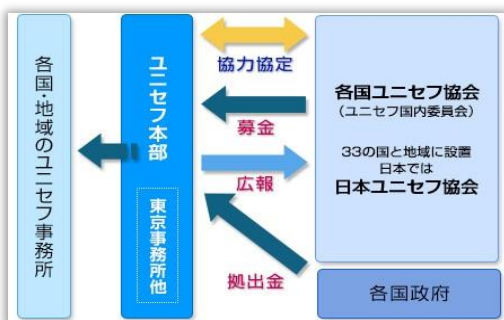
ユニセフ(国連児童基金)は、世界の子どもたちの命と健康を守るために活動する国連機関です。1965年にノーベル平和賞を受賞しました。現在、開発途上国を中心に、190以上の国や地域において、政府やNGO、地域の人々と協力しながら、子どもたちが健やかに成長し、夢を実現することができるよう、支援活動を続けています。

日本ユニセフ協会とは

ユニセフは、現在先進国を中心に世界33の国や地域にユニセフ協会(国内委員会)を置き、募金活動をはじめ、ユニセフ活動及び世界の子どもたちの様子について知らせる広報活動や「子どもの権利」の実現に向けた政策提言活動に取り組んでいます。日本ユニセフ協会は1955年に設立され、ユニセフ日本委員会として、日本国内でユニセフ活動を行っています。

ユニセフ募金の流れ

ユニセフの活動は、皆さまの募金によって支えられています。ユニセフ募金にご協力ください。



(日本ユニセフ協会 HP より)

ユニセフってなあに

ユニセフって なあに？

ユニセフの使命

ユニセフの使命（Mission of UNICEF）は、ユニセフ創立 50 周年に際して 1996 年に明文化れました。あらゆるユニセフ活動の重要な指針となるもので、「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」の精神に基づいています。



- ユニセフは、子どもの権利を守り、子どもがもって生まれた能力をじゅうぶんに発揮できるチャンスを広げるために活動する国際連合の機関です。
- ユニセフは、「子どもの権利条約」にもとづいて活動し、この条約がひろく子どもに対する行動の基礎となるように努力します。
- ユニセフは、子どもの生存、保護、発達が、人類の進歩にとって欠かせないものだと考えます。
- ユニセフは、各国の政府などにはたらきかけ、「子ども最優先」が実現するように支援します。
- ユニセフは、もっとも困難な状況にある子どもたちが特別の保護を受けられるようにします。
- ユニセフは、緊急事態にすばやく対応して、子どもを守ります。
- ユニセフは、中立の機関で、もっとも支援を必要としている子どもを優先的に援助します。
- ユニセフは、女性と女の子が男性と同じ権利を得られるように支援します。
- ユニセフは、国際社会の平和と調和のある発展をめざします。

（「The Mission of UNICEF」より抄訳）



子どもの権利条約

「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」は、世界中のすべての子どもたちがもっている“権利”について定めた条約です。この条約は大きくわけて次の 4 つの子どもの権利を守るように定めています。そして、子どもにとって一番いいことを実現しようとしています。日本も 1994 年にこの条約を批准しました。

生きる権利

すべての子どもの命が
守られること



育つ権利

もって生まれた能力を
十分に伸ばして成長で
きるよう、医療や教
育、生活への支援など
を受け、友達と遊んだ
りすること



守られる権利

暴力や搾取、有害な労
働などから守られる
こと



参加する権利

自由に意見を表した
り、団体を作ったりで
きること



（日本ユニセフ協会 HP より）

SDGs(持続可能な開発目標)

私たちは、みんな地球に住んでいる。

地球には、たくさんの課題がある。

2030年、地球を支えているのは、今の子どもたち

MDGs から SDGs へ

2000年に国連で採択された「ミレニアム開発目標（MDGs）」の達成に向けた努力により、5歳未満で命を落とす子どもが減り、より多くの子どもが学校に通えるようになるなど、多くの前進がありました。国際社会が数値目標を掲げたことが、多くの成果につながってきたのです。しかし達成期限の2015年が近づくと、"平均値"で見ると進捗の陰に取り残された子どもたちがいることや、格差の拡大等、MDGsではカバーしきれない課題があることもわかってきました。



SDGs の採択

2015年9月、「国連持続可能な開発サミット」が開催され、150を超える首脳が参加して、MDGsを受け継ぐ2030年までの新たな目標となる「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択されました。

17の目標と169のターゲットからなるSDGsは、ユニセフがSDGs採択前から重視してきた公平性のアプローチ、“誰ひとり取り残さない”を掲げ、①MDGsで達成できなかった課題、②MDGsには含まれていなかった課題、③新たに浮上してきた課題、を包括的に含んだ、先進国も途上国も取り組むべき普遍的な目標です。

奈良県ユニセフ協会 役員 (2021年7月現在)

(敬称略、理事・監事・評議員 五十音順)

顧問	荒井 正吾	奈良県知事
会長	甘利 治夫	(株)奈良新聞社 前代表取締役
副会長	荒井 敦子 狭川 普文	NPO 法人 音楽の森 理事長 東大寺 別当
常務理事	東 泰介 瀧川 潔 松山 隆	大阪外国語大学 名誉教授 市民生活協同組合ならコープ 名誉顧問 (株)松山 代表取締役
理事	安東 範明 植野 康夫 加藤 久雄 神崎 清一 佐藤 進 末瀬 一彦 長岡 雅美 中谷 昌紀 中出 篤伸 松田 理治 松塚 幾善 三岡 祥之 安田 暎胤 吉田 裕 吉田 育弘	(一社)奈良県医師会 会長 (株)南都銀行 特別顧問 奈良教育大学 学長 (公財)奈良 YMCA 総主事 佐藤薬品工業(株) 代表取締役社長 (一社)奈良県歯科医師会 会長 奈良テレビ放送(株) 代表取締役社長 みざさ(株)中谷本舗 代表取締役社長 奈良県農業協同組合 経営管理委員会 会長 天理教 海外部長 奈良県商工会連合会 会長 (一社)奈良青年会議所 理事長 薬師寺 長老 奈良経済同友会 代表幹事 奈良県教育委員会 教育長
監事	岩田 守生 中本 勝	岩田守生税理士事務所 税理士 あすか法律事務所 弁護士
評議員	有馬 孝清 今岡 春樹 植村 美代子 奥野 順也 花山院 弘匡 金重 秀幸 菊池 攻 北谷 雅人 久保田 昌孝 糸 博之 谷原 武 辻村 泰善 永尾 教昭 中村 浩士 林 信 深瀬 重雄 福井 克久 古谷 正覚 堀井 良殷 堀川 剛護 松本 航介 森 義和 森谷 英俊 森永 晃 藪岡 克美 山下 徳子 吉原 由紀子 蓮花 一己	奈良ロータリークラブ 会長 奈良女子大学 学長 (一社)ガールスカウト奈良県連盟 国際委員長 西日本電信電話(株)奈良支店 支店長 春日大社 宮司 (株)朝日新聞社奈良総局 総局長 (一社)奈良県経済倶楽部 会長 奈良市教育委員会 教育長 橿原神宮 宮司 (株)産経新聞社大阪本社 編集局奈良支局 支局長 関西電力送配電(株) 奈良支社 支社長 元興寺 住職 天理大学 学長 立正佼成会奈良教会 教会長 近鉄グループホールディングス(株) 取締役常務執行役員 奈良県中学校校長会 会長 大阪ガス(株) 奈良地区支配人 法隆寺 管長 (公財)関西・大阪 21 世紀協会 顧問 (株)毎日新聞社奈良支局 支局長 (株)読売新聞社大阪本社 奈良支局 支局長 大和リゾート(株) THE KASHIHARA 総支配人 興福寺 貫首 奈良県小学校校長会 会長 日本ボーイスカウト奈良県連盟 理事渉外委員長 NHK 奈良放送局 局長 奈良県青年海外協力協会 会長 帝塚山大学 学長

奈良県ユニセフ協会

設立目的

奈良県ユニセフ協会は、奈良という平和で豊かな文化を世界に発信する地で、サポーターとしてユニセフの役割の一端を担い、活動が一層発展し、国際協力の輪が大きく広がっていくことを目的に設立されました。

奈良県ユニセフ協会の活動

1. 広報・啓発活動
講演会、写真パネル展、出前学習、資料貸出
2. 募金活動
街頭募金、ハンドインハンド募金、支援ギフト募金、ラブウォーク、外国コイン・使用済み切手の回収
3. その他ユニセフ支援活動の推進

奈良県ユニセフ協会

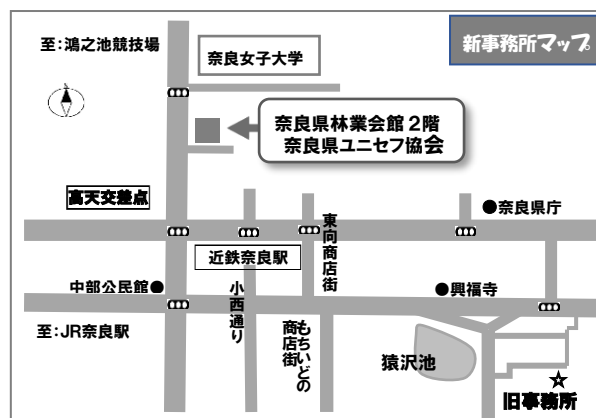
〒630-8253

奈良市内待原町6番地の1 奈良県林業会館2階

TEL 0742-25-3005 FAX 0742-25-3008

URL : www.unicef-nara.jp/

Email : unicef-n@m4.kcn.ne.jp



奈良県ユニセフ協会
設立20周年
記念誌

奈良県ユニセフ協会

unicef  | for every child